

第六回 北海道三笠レンタル会 白金温泉で総会開催



挨拶する伊藤会長

第六回北海道三笠レンタル会の総会が去る八月二十二日、二十三日の両日にわたり、大雪山国立公園の山ふところに抱かれた美瑛町白金温泉のホテルパークヒルズに於いて開催された。初秋を感じさせる中、午後三時にホテルにご集合頂き、総会に先立って主力製品説明会が屋外特設会場にて行われた。

今回は昨年より発売されたマイコンシリーズにVHW-62、72マイコンパイプレーターを加え、隔々まで届くVHS-3

第 7 回 東北三笠レンタル会 盛大に総会を開催



挨拶する中野会長

東北三笠レンタル会の第七回総会が、平成三年九月五日(休)午後二時より晴天のもと、盛岡市の繁温泉、ホテル紫苑にて盛大に開催されました。

当会も昭和六十年に会員数二十七社でスタートしましたが、毎年、会の目的・趣旨にご理解とご賛同を得て会員数を増し、七年目の今年には会員数五十八社に倍増しました。

総会に先立って、特設会場において主力製品説明会が開か



製品説明会の模様

引き続き総会が開かれ、伊藤会長より「北海道三笠レンタル会も早いもので六回目を迎えた、来年は東京、東北、北海道の三レンタル会合同総会を北海道で開催する予定ですので、会員各社の御協力をお願いしたい」と挨拶したのちに続き京谷社長より「ここ数年の好感度も減速しつつあるが、今のところ順調に推移している。三笠も建設機械にデビューして四十四年、以後タンピングランナー、プレートコンバクター、振動ローラー、コンクリートカッターなどの新製品を生み出し、建設工事に欠くことの出来ない小型特殊建設機械の三笠として存在を確立してきていますが、今回小型で強力なパイプレーター「マイコンパイプレーター」を発売。これまでに四千台を出荷しました。さらになお一層の普及を計るため会員の方々には特別なご配慮をお願いしたい」と挨拶した。

その後事務局より新入会員及び役員のご紹介が行われ、続いて議案に対し前期事業・収支報告、今期の事業計画・予算案についての説明があり全員一致で可決された。

会終了後午後六時三十分より、懇親会が開かれ、京谷専務の挨拶に続き北守副会長のご発声で開宴した。美瑛町のお隣の富良野市は北海道の中心ということで「へそおどり」が名物となっており、このユニークな踊

れ、油圧式パイプロコンバクターMVH-302DS型や、「毎度おさわがせしません」のキャッチフレーズでデビューしたMT-68SGKランナーの技術を応用した防音対策のMCD-04SGKカッターの実演があり皆様に注目されました。また、昨年九月に発表し、皆様に多大の御支持を受けているマイコンパイプレーターに、待望のエンジンゼネレーターが完成発表されました。さらに、VHW-62型、72型(専用コントローラーVCW-1型)一本槍タイプのVHS型、如意棒タイプのVHB型も発表展示され、現在の主力となっているFX高周波パイプレーターの次代を受け継ぐマイコンパイプレーターのラインナップが出来上がりました。

続いて開かれた総会では、中野会長より「長く続いた好景気もバブル経済の破綻により、なだらかな景気下降にあるが、業界のレンタル利用率は年々益々上昇している。今後の経済情勢にて、レンタル業界の責務、役

割が大きくなっていく。慎重な配慮と積極的な営業姿勢で、個々の単位でなく、業界レベルで建設機械業界の育成を」と挨拶された。その後、京谷社長の挨拶に続いて事務局より本日ご出席の会員の紹介がありました。

今回は役員改選の年に当たりますが、全役員が留任で四期目を務めていただくことになりました。他の議題も全員一致で可決されました。総会終了後、建設新聞社編集長白川勝彦氏による「バブル経済後の建設行政の課題と東北の状況」と題した講演が行われました。

講演終了後、ゆっくりと温泉につかっていたとき、午後六時三十分より懇親会が開かれ、アルコールのメーターが夜の更けるのも忘れて上昇してしま

あるが、今のところ順調に推移している。三笠も建設機械にデビューして四十四年、以後タンピングランナー、プレートコンバクター、振動ローラー、コンクリートカッターなどの新製品を生み出し、建設工事に欠くことの出来ない小型特殊建設機械の三笠として存在を確立してきていますが、今回小型で強力なパイプレーター「マイコンパイプレーター」を発売。これまでに四千台を出荷しました。さらになお一層の普及を計るため会員の方々には特別なご配慮をお願いしたい」と挨拶した。

その後事務局より新入会員及び役員のご紹介が行われ、続いて議案に対し前期事業・収支報告、今期の事業計画・予算案についての説明があり全員一致で可決された。

会終了後午後六時三十分より、懇親会が開かれ、京谷専務の挨拶に続き北守副会長のご発声で開宴した。美瑛町のお隣の富良野市は北海道の中心ということで「へそおどり」が名物となっており、このユニークな踊



晴天のもとゴルフコンペが行われた

りが披露され、日頃忙しい会員の皆様も熱心に見入っていた様子で、和気あいあいのなか親睦を深め終了した。

翌日は晴天にも恵まれて、会員有志によるゴルフコンペが大雪山カントリークラブにて行われた。熱戦の結果は次の通りです。

優勝 カツウラ建機(株)
勝浦社長
準優勝 柳ササカツ
佐々木社長
札幌課 大沢記

第八回 東京三笠レンタル会 富士山麓で総会開催



挨拶する原会長

九月十八日(木)、第八回東京三笠レンタル会総会が、富士急ハイランド、ホテルハイランドリゾートにて開催された。

当日朝から台風の影響を受け、激しく降る雨の中にも拘らず、多数の会員の方が会場に参集された。

始めにホテル前の駐車場に用意された特設会場にて、三笠製品展示発表会が行われた。「バラ色の未来がもうすぐそこに来ています」のキッチフレーズで好評を博しているVC・VHの

翌日は腕に自慢の人達が集まったの第六回ゴルフコンペと、ゆったりとした観光コースに別れて皆それぞれの一日を過ごされました。ゴルフコンペは、熱戦の末、ケンキレンタルの馬場茂雄社長が優勝されました。

仙台課 河合記



さらに油圧式パイプロコンバクターにMVH-302が加わりシリーズ化され、この分野でも、タンピングランナーに対する省力化振圧機械として皆様から期待の言葉が聞かれた。

説明を行った技術研究所の開発担当責任者には勿論、出席していた三笠の営業員にも様々な質問をいただき、特設会場のテントの中は、活気に満ちていました。

引き続き会場をホテル内の「富士の間」に移し総会が開催されました。始めに原会長から「我々の業界は、悪くも良くもないと言った感じであるが、他業界と比べ、共栄共栄、共々業績の一層の発展を計りたい」とそれぞれ挨拶した。その後議事に入り、第七期の事業報告並びに決算報告が承認された。さらに第八期の事業計画案並びに予算案が決定され、第八回の総会は和やかなうちに終了した。

総会終了後は、パーティー会場に場所を移し、会員同志、また三笠の社員も含め、途中ビンゴゲームなどを入れて楽しく親睦を深めていただいた。

比較すれば、まだ恵まれている。第二次構造改善も認可された、我々としても新しい人材の確保と育成、斬新なサービスを行い、会社の成長を計らなければならぬ。この会を大いに利用して、会員各位の情報交換を計り、今後の経営に役立てていきたい」と挨拶され、続いて三笠産業の京谷社長から日頃ご愛顧いただいているお札とマイコンパイプレーター発売以来、わずかの間に四千台突破の販売業績のお礼を申し上げ、「公共事業中心とした息の長い安定が続く中、東京三笠レンタル会の皆様と手を携え、共存共栄、共々業績の一層の発展を計りたい」とそれぞれ挨拶した。その後議事に入り、第七期の事業報告並びに決算報告が承認された。さらに第八期の事業計画案並びに予算案が決定され、第八回の総会は和やかなうちに終了した。

総会終了後は、パーティー会場に場所を移し、会員同志、また三笠の社員も含め、途中ビンゴゲームなどを入れて楽しく親睦を深めていただいた。

第二課 青木記



第八回東京三笠レンタル会総会



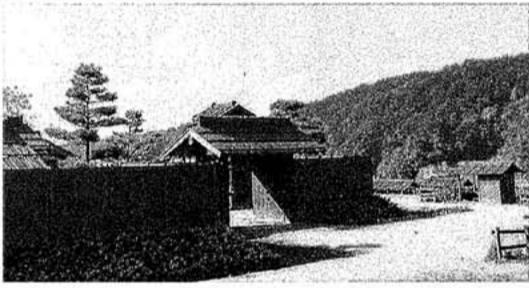
織姫公園の展望台で

女優榎ふみの父、晩年の名作『火宅の人』を残した榎一雄が少年時代を足利市で過ごしたことは余り知られていない。旧制足利中学三年生のとき書いた「城跡を歩む」という題の作文がある。中学の裏山にある両崖山城跡からこの織姫公園への尾根道(いまは県立自然公園ハイキングコースに指定されている)を歩いた綴りだが、その最後はつぎのように結ばれている。

「弱き人々よ、永遠の自然のみもとに膝まづけ——と。小説家といえは田山花袋は子供のころ足利市内の漢方薬問屋へ奉公に出されたことがあり、「関東平野の雪」という文章の冒頭に幼い日の足利の町を感慨ぶかく描いているようだ。眼下一望の市街と、遠く太平洋まで見えそうな地平線、さらに左右の広がりやの遙けさは、関東平野の眺望随一といえる。少年榎一雄が成人してこの展望台に立つならば、何を思いどのような創作欲を湧き立たせた



だろうか。左手の街並はるかに佐野市が見える。右手に上州赤城山がかすみ、その手前に桐生そして金山の新田の庄。ヒヒとして降る雪に赤城おろしがまじった寒い夕暮、ひとり旅僧が行き暮れて一夜の宿を乞う。見るからに貧しい家で、これは鎌倉北条から冤罪で追放され零落した佐野源左衛門常世が世を忍ぶ家だった。謡曲で有名な『鉢の木』のストーリー。この伝説の物語をめぐって昔から今もお話している論争がある。『鉢の木』の舞台である佐野は、いま眼下左手に見える栃木県佐野市であると主張する郷土人と、いやそれは群馬県高崎市を流れる鳥川にかかると、佐野の渡しなのだとか上州びとと、この二つの意見対立はいっこうに解決する見込みがつかないのだ。



「新田館」オープンセット

「鉢の木」の道行き文を読んで見ると、信州浅間山麓から碓氷を越え上州板鼻へへ急ぎ候ほどに上野佐野の渡しに着きて候……と明記してある。もともと古くは万葉集を見よ。天下の万葉集が上野と下野を問違えるわけがねえよ、と。もちろん太平洋記の尊氏VS新田義貞が繰りかえした抗争確執において然りである。

本家争いなんて……この手の論争は八木節の本家争いにも見られるから面白い。本稿でも三笠モーター工場桜電機の本項では、八木節発祥の地として当地の肩をもつておいたが、いまこの広大な風景を見てみると、桐生も足利も新田も板鼻も佐野の渡しも同じ視野のうち。本家争いなんて、どうってことあーねーじゃねーか、ガハハハ……と南禅寺の石川五右衛門の心境だ。

伝説とか伝承の面白さは時節時世にしたがって流行不流行をくりかえし、そのつど新説が現れたり本家争いが演じられたりする。天空の上にも下にも悠久の時間が流れており、その隙間を人間たちが跡切れがちな歴史の糸を管々と紡いでいる。それはノミの拳丸にも及ばない微小なことであろう。こんな山頂に古墳があった。禿げ山の円墳で、その出土品から推して当地の豪族の墓だったろうと説明板にある。……いい気分だったでしょうね、こんな見晴らしのいい場所に墓を作るなんて。記者は逢ったことも見たこともない豪族の親分ではあるが、一応敬意をこめてそういおうと、……いい気分だつて死んだら人間おしまいだよ。ワハハ……そうやって桜電機の森工場長

に笑い飛ばされてしまった。ニワトリと馬鹿は高いところへのぼるとか。いつまでもいて頭の中が空っぽになっては大変だ。もう下りましよう、そうしましようと思ひ一致で急な坂の細道を降りはじめると、曲がり角の小さな平地に一基の詩碑。黒御影石に筆太文字が彫りこんであるのを読んでみると、春 岡崎清一郎 ひととわかれ はるの日に向へる くるしき 枝はあをみて燈のごとく 下行きて いまは誰に逢はむと 云ふか ……

失恋の苦しみか青春の憂いかわからないが、今は広大無辺な関東平野の眺望で気分が大になつて、食べて、六泊七日の短い時間を有意義に使用しようと意気込み充分の旅立ちであった。 まだこれから行道山浄因寺、そして最終目的地のNHK太平記野外セットまで予定コースが残っているから忙しいのだ。 岡崎清一郎について後で調べてみると、足利市大町の生まれで画家を志望し上京、太平洋画会研究所に学んだが、北原白秋の詩に魅せられ弟子入りしてしまったという詩人。 その業績は『岡崎清一郎著作集』全三巻の豪華本にまとめられ、郷土出版物として桜電機の工場長室書棚にも恭々しく飾られていた。地元のオツキアイと言ふものだろう。 県立自然公園ハイキングコースの北の玄関、行道山浄因寺は市街を北に進んで約二十分、のどかな田園地帯から緑の谷間へ入って行く。その途中に凄い評判の手造りうどんの名人がいるとか。こんな機会にその名人とやらの尊顔を拝んでみようということになったが……。続きは次回最終回で。

第18回 社員海外視察旅行



香港のタイガーパームガーデンにて 左より高橋、八巻、山野、平田

今回は平田(新潟出張所)、八巻(東京本社)、高橋(札幌営業所)、山野(部品サービスセンター)と各地に分散している四名がメンバーである。八月三十日、十三時三十分、成田発日航七七一便にて一路タイのバンコクへ向けて出発した。元来好奇心旺盛なこの四人はせっかくな機会なのだから何でも聞いて、歩いて、食べて、六泊七日の短い時間を有意義に使用しようと意気込み充分の旅立ちであった。

シンガポール シンガポールの宿であるマンダリンホテルには午後三時頃到着。夕食までは時間があるので軒を連ねるなかに、セブンイレブンを見つけなせか安堵する。確かにシンガポールの街並みもきれいで、ガイドの女性もチャームイングだが、何故かよそよそしさを感じてならない。 明けて九月二日は午前中市内見物である。あいにくの雨模様であるが、植物園の奇妙な竹や樹木には改めて異国にいることを実感させられた。 九月三日は五時三十分起床である。簡単な朝食をとり、チェックアウトの後、最後の訪問地香港へ。早朝のためシンガポールの町中はまだ動きがない。団地の片隅で、太極拳で汗を流す人々を横目に空港に向う。

バンコク 六時間飛行機に乗りつばなしでいささかうんざりした様子でバンコクの国際空港に降り立つが、時差二時間で現地時間は十八時少し前なのでまだ明るい。宿はデュシタニホテルで繁華街パッポン通りにほど近い。ロビーで日頃三笠製品の輸出でお世話になつていいるT社のA氏、F氏と落ち合い、早速タイ料理の美味しい店に案内して頂くが、まずその辛さに驚かされた。この店は日本人観光客などはあまり立ち寄らない店で、本場タイ料理をゆっくりと心ゆくまで堪能した。

翌日は午前中バンコク市内見物に出かける。バンコク市民の朝は早く、午前五時頃には出勤途中と思われる人々の姿が絶えない。日中は自動車の洪水の中をバイク、自転車が行き交う。これで交通事故が少なくないというのはタイ式ボクシングで鍛えた運動神経があり、ケガをしなかった責任は自分にあるという一種の合理精神が幸いしているのだろうか。 夕食は昨夜に引続き豪華版である。まず三、四人前はあろうかというフカヒレスープである。元来フカのヒレというものはスープに溶け込んでいるものだと、思っていた筆者は、始めて形のあるフカのヒレを食べて感激の極みであった。更に蒸したカニ、焼いたガチョウ等トラフク平らげ、満腹感一杯のバンコク最後の夜を過ごした。この店にしてはやはりT社の方々の紹介がなければとでも行けるところではなく、我ら一同、A氏を始めN氏、F氏へお礼の言葉もない位お世話になり大変有難うございました。

啓徳空港には午後二時四十五分に到着。出迎えるバスで海底トンネルを抜け香港島にあるホテルコンヒルトンホテルに向った。天気は曇りがちであるが湿度が高いため暑く感じる。夕食後散歩がてら名物の二階建て市街電

車に乗りホテルに帰る。 九月四日。午前中は香港島観光に出かけるが、ホテルの裏手のガーデン通りを駆り進んで歩き、ケーブルカーでビクトリアピークに向う。終点の展望台から朝の香港を眺めるが夜景でないのが残念であった。その後レバンス湾、スタンレーマーカーツ、タイガーバームガーデンと見学する。後はほぼショッピングである。夕食後は今や六百万ドルの夜景といわれる香港の夜景を見に行くが日本企業の大きなネオンが目ざわりなっているのが印象的だった。 いよいよ最終日、ホテルをチェックアウトする時間が十一時四十五分なので、朝食後市内を散歩する。クイーンズ通り沿いの中国デパート、路地の朝市、屋台を探索し買い物をする。 チェックアウトを済ませ空港に向う。成田行きの飛行機は四人をのせて六泊七日の旅を終わらせようとしている。ぜひまた行ってみたいの思いを胸に、各々グルメに観光に心行くまで楽しんでみようである。 最後になりましたが、我々の旅行をサポートしてくれ関係者の皆様、大変有難うございました。

三笠クイズ VOL. 3

A	ア	B	D	E	2
イ			1	ウ	F
エ	C			4	オ
カ	3				

(問題) タテとヨコのカギを解いて1~4の文字をつなげると、秋にちなんだ言葉が浮かんできます。さて何でしょう。

タテのカギ
A. 火山の爆発で降るもの
B. 感情をおさえる、心のはたらき。○○薄弱
C. 家財・商品などを安全に貯蔵するための建物。
D. 鳥の子。ひな。
E. 論旨などをまとめて短く言い表すこと。
F. 礼儀作法などを教え込むこと。家族の○○。

ヨコのカギ
ア. 選挙の結果。○○○○速報
イ. 船が暗礁に乗り上げること
ウ. 肥料
エ. 夢を食うと言われている動物
オ. 履物的一种
カ. 用件などを人にたのむこと

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえ応募ください。正解者には、抽選のうえ10名様に記念品を差し上げます。
●あて先 〒101東京都千代田区猿樂町1-4-3 三笠産業株式会社 「三笠ニュース」編集部
●締切り 1991年11月5日(消印有効)

VOL.2の答えは「フウリン」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。
上村博文様(大田市) 六川裕子様(佐久市) 永瀬利男様(浦和市) 大瀧美奈子様(上川郡) 林みさを様(新田郡) 栗城源作様(大沼郡) 森川明様(札幌市) 荒井徳様(須坂市) 新家稔様(神戸市) 木村俊信様(盛岡市)

ザ・建機展'91盛大に 株鈴機商事展示会開催

日頃三笠製品の販売及びレンタルに多大なご協力を頂いておられます神奈川県の有力な代理店である(株)鈴機商事さん(本社・神奈川県藤沢市 鈴木達雄社長)の展示会が七月二十七日、二十八日の二日間盛大に開催されました。

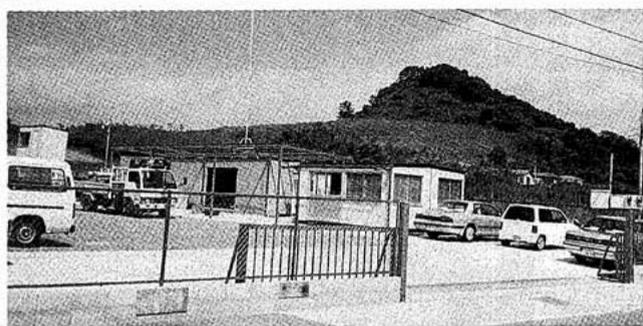
出展各社のコーナーでは成約を祝う太鼓の音が鳴り響き、社員やコンパニオンの方々が暑さのなか走り回っておりました。三笠のコーナーに於いても、昨年より発売を開始したマイコンパイプレータに注目が集まり、お客様への対応に丁寧な波パイプレータやランマー、プレート、カッター、ローラー等たくさんのご成約を頂きました。これもひとえに鈴木社長さまを始めバイタリティー溢れる社員の皆様の日頃のご努力の賜と感謝申し上げます。また、(株)鈴機商事さんの今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

第四課 向成記



(株)サトー 中井営業所を開設

東名高速秦野中井ICにも近い



山田所長

去る八月二十日、神奈川県足柄上郡の有力なレンタル会社である(株)サトーさん(本社 神奈川県足柄上郡山北町岸一七七一 佐藤精一郎社長)におかれましては第二番目の営業所として中井営業所(同県足柄上郡中井町藤沢八六三一)を開設されました。中井町は秦野市と二宮町の中間に位置し、平塚方面にも近く今後益々発展が期待される町です。

当営業所は東名高速道路の秦野中井インターからも程近く、交通の便にも恵まれております。約四〇〇坪のレンタルヤードには三笠の高周波パイプレータ、ランマー、プレート、カッターを始めとして、発電機、バックホーなど、多くの機械が豊富に用意され、あらゆるニーズに応えるべく、万全な体制がとられています。所長には本社より明朗闊達で実直な山田所長が就かれました。

現在(株)サトーさんにおかれましては本社を中心として、御殿場、中井、静岡にまたがる地区における営業網が一層充実されました。今後とも(株)サトーさんがレンタルを始め販売、サービスへと益々のご発展と山田所長を始めとする営業所所員の方々のご健勝をお祈り申し上げます。

第一課 永山記

中道機械産業(株) 甲府営業所新築完成 8月23日、落成祝賀を挙

中道機械産業(株) (本社 東京都港区高輪三二五二九 梅本史郎社長)さんにおかれましては沼田、太田、松本と一連の営業所新築に続き、甲府営業所(原田所長)を新築され、八月二十三日に盛大に落成式が行われました。

今から十七年前前に開設した国道二十号線沿いの店舗よりさらに規模を充実し、旧営業所に程近い場所に八百五十坪と数多くある同社の営業所のなかでもトップクラスに入る敷地を確保し、今後の発展が期待されることとあります。

落成式は本社より松尾専務を始めとして幹部社員が出席され、



原田所長



地元の取引先ユーザー、各主要メーカー、また土地を提供してくれた地主さんをお招きして祝いの宴をあげられました。

式典に於いて松尾専務より出席者各位に対してこれまでの甲府営業所に対するご厚情に引きお礼の言葉を述べられ、引き続き新営業所をよろしくお願ひ申し上げる旨ご挨拶があり、またこれにこたえるべく地元矢崎工業(株)矢崎社長、(株)望月組土木望月社長より中道機械産業(株)甲府営業所への今後益々の発展と地元業界に対する協力を対して大いに期待する旨の祝辞が寄せられました。

また原田所長からは今後全力



(株)イマギレ、恒例の グランドフェア 大宮、桶川会場とも賑わう

レンタルに販売にと躍進を続けられております(株)イマギレさん(本社 埼玉県大宮市 瑞幸二氏)では毎年恒例の展示会であり、第十一回



目のグランドフェアを九月七日、八日の二日間、同社大宮センター内において盛大に開催されました。

グランドフェアの規模の大きさは関東でも有名ですが、事業拡大の一環として近年発足したレジャー事業部からモーターボートやキャンピングカーなどが出品、ご成約され、展示会を一層盛り上げていきました。また、八日、九日には桶川会場において四〇〇台の品揃えをして中古オークションも行われ、国内はもとより海外からも多数のバイヤーが訪れ、両会場とも大いに賑わいました。

展示会第一日は晴れた暑い日でありましたが、二日は台風の影響で雨降りの一日となり、お客様の出足が心配されましたが、雨のなか多数のお客様が来場されました。

三笠コーナーでは何と云っても「びっくりなしに引っぱりだこ」のマイコンパイプレータを筆頭に防音シリーズコーナーを設けMT-68SGランマー、MT-M50V電動ランマー、

を上げて地元のあらゆるニーズにこたえるべく所員一同団結して向かうとの力強い挨拶があり、一同なごやかな歓談の内に無事式を終了することができました。

甲府営業所は山梨県内一営業所であり、そのテリトリーは広く、何かと大変と思いますが、原田所長のもと所員の皆様のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

第一課 永山記



故山本猛夫 御山善会長の社葬おこなわる
七月十六日
大阪南御堂にて

永年にわたり当社の代理店をお願いしております株式会社山善(本社・大阪)の山本猛夫代表取締役会長には去る、六月十八日に七十才をもって逝去され、葬儀・告別式が七月十六日、大阪本願寺難波別院(南御堂)で社葬をもって厳かに執り行なわれました。機械工具業界の繁栄をリードされた重鎮であり、また花登儀作「どてらい男」の主人公「モーターマン」のモデルとして注目され、波乱万丈の人生を送られた鉄鋼の町、立売堀の名物会長だけに関係者約三千五百人が参列され、ご存命の御功績の偉大さを物語る盛儀でありました。

当社より小野社長が葬儀に参列し、謹んで故人に感謝申し上げますとともにご冥福をお祈り申し上げます。

故人はこのほど正五位勲三等瑞宝章を受賞されました。

合掌
三笠建設機械(株) 田中記

MCD-04SGKカッターを展示、近年の騒音問題を反映するかのようになり注目を集めるとともにご成約をいただきました。

二日目は雨の中でありましたが、あちこちから手締め音が響き、最後の最後まで盛大に盛り上がりました。展示会に多大なご協力を賜りました今給黎社長始め社員の皆様に深くお礼申し上げますとともに今後益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

第二課 神田記